

I 第34週の発生動向 (2011/8/22~2011/8/28)

- 手足口病については、弘前保健所管内において第26週から、東地方+青森市保健所、八戸保健所、五所川原保健所及び上十三保健所管内において第31週から、むつ保健所管内において第32週から、**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内及び弘前保健所管内において**警報**が発令されています。
- 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内において**注意報**が発令され、上十三保健所管内においては第27週から**警報**が継続しています。

II 第34週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(85) インフルエンザ														0					
小児科																			
(74) RSウイルス感染症	4	0.4	5	0.6					1	0.2			10	0.3	3			4	0.5
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	3	0.3			1	0.2					5	0.1	0	1	1.0		
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.2	2	0.2	1	0.1							5	0.1	-2			2	0.3
(77) 感染性胃腸炎	24	2.7	4	0.4	7	0.9			6	1.0	10	3.3	51	1.3	13	8	8.0	16	2.0
(78) 水痘	3	0.3	1	0.1	1	0.1			1	0.2	5	1.7	11	0.3	-14			3	0.4
(79) 手足口病	169	18.8	106	11.8	67	8.4	37	7.4	166	27.7	23	7.7	568	14.2	66	20	20.0	149	18.6
(80) 伝染性紅斑			2	0.2	2	0.3			3	0.5	2	0.7	9	0.2	3				
(81) 突発性発しん	4	0.4	2	0.2	5	0.6	1	0.2	9	1.5			21	0.5	-15	1	1.0	3	0.4
(82) 百日咳														0					
(83) ヘルパンギーナ	78	8.7	76	8.4	3	0.4	5	1.0	28	4.7	1	0.3	191	4.8	80	10	10.0	68	8.5
(84) 流行性耳下腺炎	5	0.6	3	0.3	9	1.1			16	2.7	11	3.7	44	1.1	-12			5	0.6
眼科																			
(86) 急性出血性結膜炎														0					
(87) 流行性角結膜炎	4	2.0			2	1.0	1	1.0					7	0.6	-2			4	2.0
(92) クラミジア肺炎														0					
基幹																			
(93) 細菌性髄膜炎														0					
(95) マイコプラズマ肺炎					5	5.0					5	5.0	10	1.7	2				
(96) 無菌性髄膜炎														0					

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸6人、上十三3人、むつ2人(23年計:278人)
- (14) 細菌性赤痢(三類全数把握疾患)：弘前2人(23年計:2人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人、五所川原1人、上十三1人(23年計:21人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・感染症発生動向調査による病原体検索については、以下のとおりです。
- 下気道炎患者1名(鼻汁、5/20)・・・ライノウイルス：弘前

感染症の窓

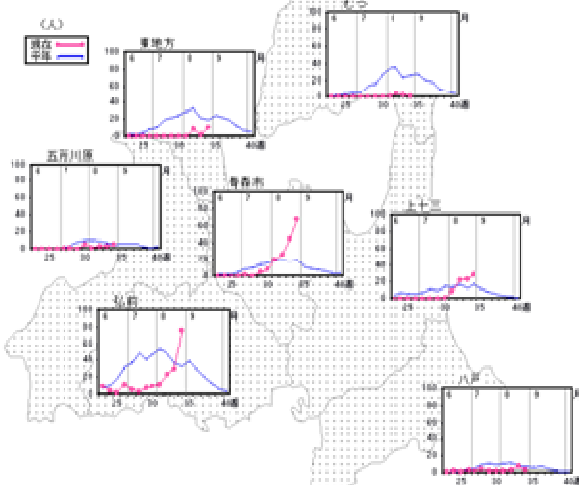


図 保健所別届出数の推移

ヘルパンギーナ (五類定点把握疾患)

ヘルパンギーナは、小児の夏風邪の代表的な感染症の一つで、6~8月に流行し、1~4歳児に好発します。主な病原体は、エンテロウイルス属のコクサッキーA群ウイルスで、まれにコクサッキーB群やエコーウイルスでも発症します。

潜伏期間は、およそ2~4日で、症状は、発熱、咽頭痛、まれに流涎、頭痛、筋肉痛、発疹を認めることもあり、有熱期間は3日以内です。咽頭は軽度に発赤し、軟口蓋中心に紅輝を伴う水疱または浅い潰瘍が認められます。

感染経路は、急性期には咽頭分泌物に含まれるウイルスにより飛沫感染します。急性期から回復期には、排泄される糞便にもウイルスが含まれるので、汚染された手や飲食物を介した糞口感染もあります。感染予防には手洗いの励行が大切です。「感染症の診断・治療ガイドライン2004 日本医師会監修」参考

県内の保健所管内の届出数は増加傾向にあり、青森市、弘前及び上十三で平成(過去10年間の平均)よりも届出数が多くなっています(図)。

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です）

単位：人 2011年第14週～第33週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
14	H23.4.4 ~ H23.4.10						
15	H23.4.11 ~ H23.4.17			アメーバ赤痢1人		麻疹1人	
16	H23.4.18 ~ H23.4.24						
17	H23.4.25 ~ H23.5.1			レジオネラ症1人			
18	H23.5.2 ~ H23.5.8						
19	H23.5.9 ~ H23.5.15	つつが虫病1人					
20	H23.5.16 ~ H23.5.22				つつが虫病1人		
21	H23.5.23 ~ H23.5.29			つつが虫病1人			
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	つつが虫病2人					
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	つつが虫病1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	麻疹1人 つつが虫病1人	
24	H23.6.13 ~ H23.6.19		梅毒1人	急性脳炎1人			
25	H23.6.20 ~ H23.6.26		腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	つつが虫病2人	つつが虫病2人			梅毒1人	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10					後天性免疫不全症候群1人	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	レジオネラ症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31		腸管出血性大腸菌感染症3人 後天性免疫不全症候群1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
31	H23.8.1 ~ H23.8.7					つつが虫病1人	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14						
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		腸管出血性大腸菌感染症1人				

VII 結核（二類全数把握疾患）

単位：人 2011年第14週～第33週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
14	H23.4.4 ~ H23.4.10	2	2	6	1	2	
15	H23.4.11 ~ H23.4.17	1	2	4	1		
16	H23.4.18 ~ H23.4.24	4		4	3		
17	H23.4.25 ~ H23.5.1	1	1		1		
18	H23.5.2 ~ H23.5.8	1	1	1	2		
19	H23.5.9 ~ H23.5.15		2	2	3	1	
20	H23.5.16 ~ H23.5.22	2		1			
21	H23.5.23 ~ H23.5.29	1		5	3	3	
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	2	2		1	1	
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	1	2		2		
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	1	5	5	2		
25	H23.6.20 ~ H23.6.26	1	1	8	1	6	3
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	1	1	2		1	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10		3	10		6	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	1		10	1	3	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24	1	1	3		4	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31	1	1	3	2		3
31	H23.8.1 ~ H23.8.7	2		3	2	5	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14	3		3	2	1	
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		1		1		1

VIII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

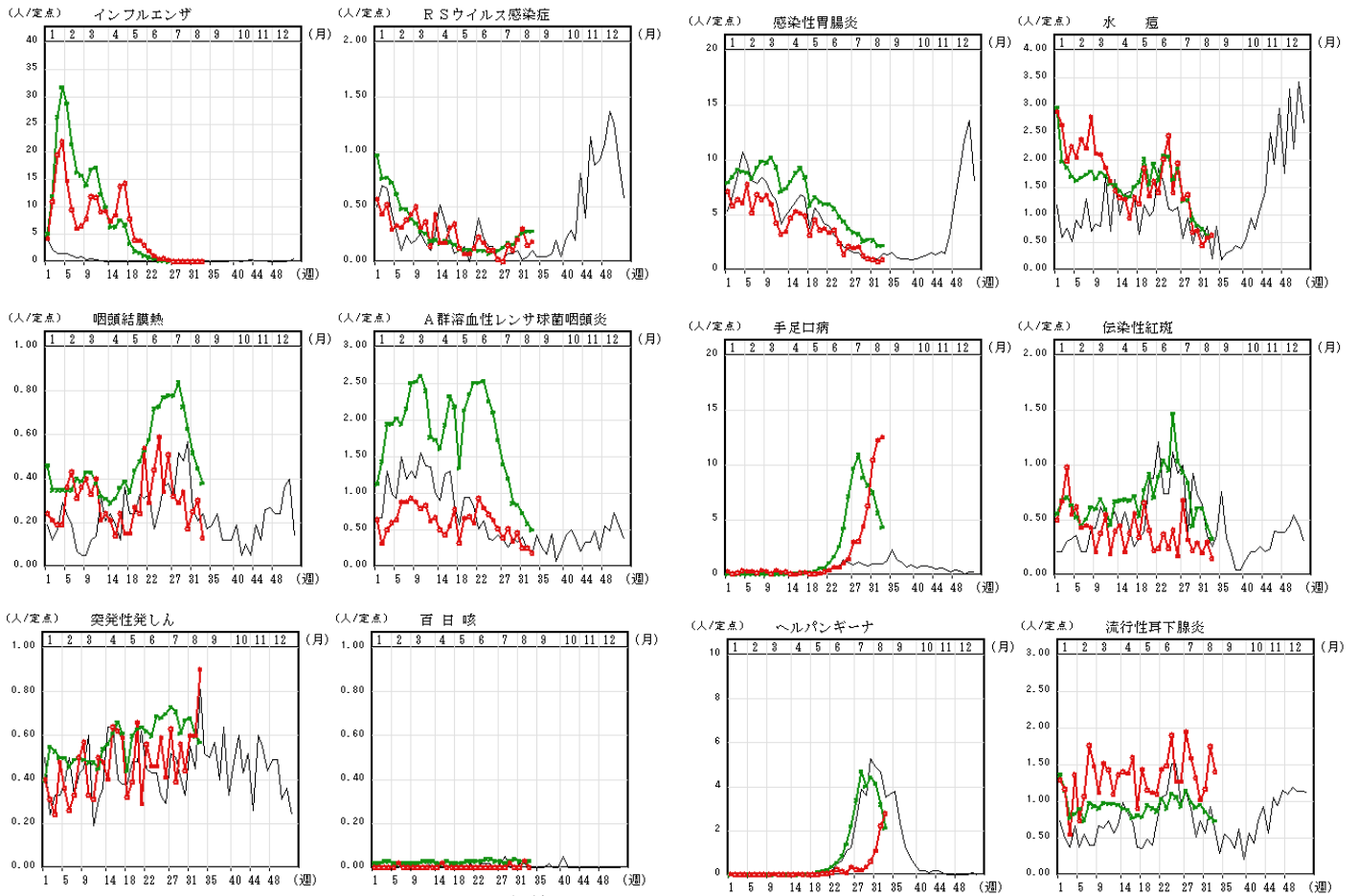
2011年8月30日9時集計速報値

	二類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリヌス症	マラリア	ライム病
全国	1	19334	6	142	2588	14	17	41	142	12	11	2	5	162	58	65	2	3	45	5
青森県	0	276	0	2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0
	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎	先天性感風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹		
全国	2	454	8	502	167	192	6	78	149	918	44	7	1	486	74	37	299	388		
青森県	0	2	0	1	0	2	0	1	2	2	0	0	0	5	2	1	0	2		

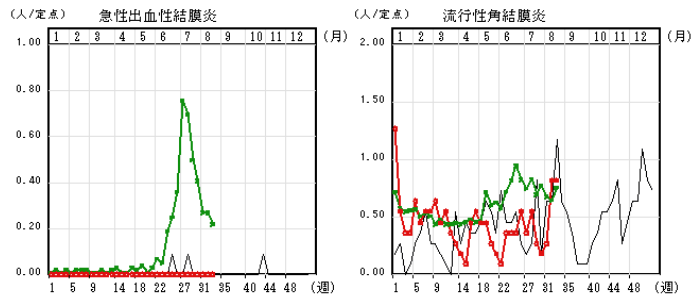
グラフの説明 ○—○は 2011 年青森県、——は 2010 年青森県、○—○は 2011 年全国

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2011 年第 33 週



X 眼科定点把握疾患週別推移 2011 年第 33 週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2011 年第 33 週

